

野研びより

鳥編 5号
野外生物生態調査研究部 鳥班
2016年11月

私たちが普段よく見かける鳥であるカラス。私たちが普段見かけるカラスが、実は2種類いることを知っていましたか？その2種類のカラスは、ハシブトガラスとハシボソガラスといいます。今回は、それらのカラスに注目してみたいと思います。

ハシブトガラス（嘴太鳥、嘴太鴉）

学名：*Corvus macrorhynchos*

英名：Large-billed Crow

●全長 56cm²⁾

●鳴き声

カーカーと澄んだ声で鳴く。その他にも、カウ、カウ、カポン、カポンなどいろいろな声を出す。飛んでいるときに翼を上げて、カーカーと長く鳴くこともある。

●渡り区分 留鳥（同じ地域に一年中生息し、主として季節移動しない鳥）

●食性

草木の実や芋類、昆虫類、鳥類、ほ乳類、ミミズ類、カエル、残飯など



©2016YAKEN

図1. 木にとまるハシブトガラス (2016年5月3日
宮崎神宮にて撮影)

河川敷や海岸、農耕地から山間部など、様々な環境に生息している^{1) 2) 3)}。近年は生息地を都市部に広げ、街で観察することのできる鳥の代表になっている。

雄雌で同じ体色である。全身が黒色をしており、ハシボソガラスに似るが、やや大きい。嘴は太く、嘴が大きく湾曲している。額は出っ張っている。市街地のビル街に適応し、よくゴミ箱をあさり、ゴミを散乱させる。

宮崎県内いたるところに生息するが、ハシボソガラスよりはやや森林を好む。非繁殖期は一定の場をもち、群で生活して早朝分散し、夕方帰ってくる。

ハシボソガラス（嘴細鴉、嘴細鳥）

学名：*Corvus corone*

英名：Carriion Crow

●全長 50cm²⁾

●鳴き声

ガーガーと濁った声で鳴く。飛びながら鳴くときは、翼を体の横で止めている。

●渡り区分 留鳥

●食性

草木の実や芋類、昆虫類、鳥類、ほ乳類、ミミズ類、カエル、残飯など



図2. 木にとまるハシボソガラス (2016年5月4日
宮崎神宮にて撮影)

雄雌で同じ体色である¹⁾ ²⁾ ³⁾。全身の羽毛は光沢のある黒色で、脚と嘴も黒色である。嘴はハシボソガラスよりは細く、少し下に湾曲している。額はあまり出っ張っていない。

ハシブトガラスと同様、宮崎県内のいたるところに生息し、郊外の住宅地や村落、畠地など開けた場所で地上を歩きながら採食する。非繁殖期は一定の時をもち、群で生活し早朝分散し、夕方帰ってくる。



図3. 電線で鳴くハシブトガラス
(2016年10月5日木花キャンパス南側加江田川周辺にて撮影)



図4. 地面で採食するハシボソガラス
(2016年1月5日宮崎大学船塚ビオトープにて撮影)

引用文献

- 1) 鳥くん・永井真人 (2009) バードウォッチングの楽しみ方 (趣味の教科書), エイ出版社
- 2) 中村豊・井上伸之・福島英樹 (2015) みやざきの野鳥図鑑, 鈴脈社
- 3) ピッキオ (1997) 鳥のおもしろ私生活—森の野鳥観察図鑑, 主婦と生活社